



新型コロナ「5類」移行後の 対応・地域力を高めるコミュ ニティ構築について

まつもとつぎお
松本 次男 (清風クラブ)

流行状況の把握について

問 市の新型コロナ流行状況の把握方法は。

答 (保健福祉部長) 週1回公表される群馬県感染症情報により、管轄保健所別報告数と定点あたりの報告数の増減の推移を見て、流行の動向を把握しています。

個人の対策と国の制度について

問 個人の感染予防対策への対応は。

答 (保健福祉部長) 法律に基づき行政が要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重した対応に変わりました。基本的な感染対策についても、市として一律に対応を求めることはありません。

問 国のワクチン接種の方針は。

答 (保健福祉部長) 現在の新型コロナワクチン接種は8月末まで実施されますが、9月以降に実施予定のワクチン接種に対する国の方針については、現時点では未定となっています。

問 高齢者施設等への検査キットの配布や助成の考えは。

答 (保健福祉部長) 検査キットの普及や他の疾患等との公平性から、現在のところ配布や助成はしておりません。

問 市の相談体制は。

答 (保健福祉部長) コロナ感染症も含めた健康相談として、休日・夜間を除き、健康づくり課で対応しています。また、ワクチン接種に関する相談は、引き続き市ワクチン接種コールセンターで対応しています。

公立碓氷病院の対応について

問 コロナ5類移行後の入院受け入れ方針は。

答 (公立碓氷病院事務部長) 今年9月までは、これまで同様に療養病棟の一部をゾーニングし受け入れ予定です。10月以降については、各病棟での受け入れを検討しています。

その他、地域力を高める仕組みづくりについて質問しました。



障害者優先調達推進法に対す る取り組みについて

はら だ だい
原田 大 (日本共産党安中市議員)

障害者優先調達推進法の取り組みについて

問 令和3年度調達額4,204,528円のうち、清掃・施設管理作業が全体の99%を占めるが、屋外作業がメインなのか。

答 (保健福祉部長) すべて屋外業務です。

問 真夏日が続く時期の発注者側の対策は。

答 (保健福祉部長) 作業従事者の健康管理は、委託先での対応となっています。

問 清掃・施設管理の中のトイレ清掃割合は。

答 (保健福祉部長) 64.6%です。

問 市発注作業において、炎天下での屋外作業が委託先任せ、発注額の6割をトイレ清掃が占めていることをどう考えているか。

答 (保健福祉部長) 炎天下作業は大変な作業であるため委託先へ注意喚起を行っています。また、トイレ清掃以外の清掃・施設管理業務を検討していきます。

問 庁舎内での作業を発注できないか。

答 (保健福祉部長) 障害者就労施設の役割情報を収集し、庁舎内作業を検討します。

問 過去3年間、調達額が増加しているが、調達量が増えたのか、それとも一人当たりの契約単価がアップしたのか。

答 (保健福祉部長) 調達の業務量は毎年増加しています。令和2年度は、1時間当たりの単価も値上げしました。

問 ふるさと納税返礼品は当該制度対象か。

答 (保健福祉部長) 施設が作る商品を返礼品として出品してもらうよう募集し、当該制度の対象として今後計上していきます。



公園ゴミ拾い作業の様子